

CHIT CHAT RADIO 子育て CHAT ROOM

2021年9月21日 15時15分～15時39分



ゴジラが吠えるーお父さんの想い〜理想と本音〜

今日も鈴木先生お迎えしました。こんにちは。

(す) こんにちは。よろしくお願いたします。

そして今日はスタジオに鈴木先生に加えてこの方にもお越しいただいております。

(ゴ) 子ども島のゴジラ君です。よろしくお願いたします。

はい、よろしくお願いたします。七月以来の久しぶりのご登場になりますが、子ども島のゴジラ君はこのコーナーで相当なインパクトを残してくださりました。では、亀谷さんから子ども島のゴジラ君、これは世をしのぶ仮の姿と言いつつことなので、どっつい方なのかご紹介をよろしくお願いたします。

分かりました。曰下降先生のプロフィールを紹介させていただきます。先生は、香川大学医学部小児科の教授でいらつしゃいます。赤ちゃんの集中治療を専門にされていまして、小さく生まれた赤ちゃんや医療的に問題のある赤ちゃんの発育を外来で見守つていらつしゃいます。それだけにいろいろな想いも持つてらつしゃるごいりだござす。

はい、ゴジラ君、よろしくお願いたします。

(ゴ) よろしくお願いたします。

今回もインパクトある発言を期待しております。前回、ゴジラ君は子ども立場になつて、保護者もつと子どもに目を向けてほしいと言つたことを伝えるに来てくださったんですが、今回も思うところがあつてお越しいただいたと伺つております。

(す) はい、お父さんについてなんですが、まず母性と父性について考えてみますと、母性というのは、お母さんは赤ちゃんがお腹にいる時から知つていきますので、生まれた瞬間に「私はお母さん」と思つたんですね。お父さんからするともうびつくりするよつたな事件ですよ。いきなり赤ちゃんという、得体の知れないものがやつてくるわけですから。前から疑問でしたが、本当に父性というものが生物学的に存在するのかなつて。ペンギンはお父さんが子どもをあつたためたり、ある種の鳥はお父さんが育てている。果たして人間に父性が本当にあるのかなどゴジラ的に思つたわけです。

お父さんだから子どもを愛するのは当たり前なんですけど、今日、僕が考えたいのは、お父さんとお母さんの役割は違っし、お父さんとお母さんの愛し方のプロセスは違っんじゃないかということですね。今日はお父さん側に立って、お父さんチームの代表として喋ってみたいというのが今日のゴジラの主張です。

父性ということですが、前に鈴木先生が男性と女性では脳の仕組みが違っので、女性の思い通りになかなか男性は動いてくれないから、お母さん方はモヤモヤとすることがあるという話をしてらしたことがありましたね。

ちょっと耳が痛い話でしたね、男性側からすると。(笑)でも確かにそうだなと納得できるお話をいただいた覚えがありますね。

生まれたばかりの赤ちゃんを担当されているゴジラ君、田下先生が、このまっにおっしやんて事は、いろんなお父さん達を「賢」なってきてるからですね。

(L)僕は、お母さんも初めからお母さんじゃないと思っんです。お母さんの子どもへの愛情が高まる時期があって、それは出産した時で最大になるんですね。その後には赤ちゃんからおっぱいを吸われてホルモンが出ることで、子どもが可愛いという気持ち湧き出っ、生物学的にお母さんになっていくんですよ。お父さんはおっぱいが出ないですからね。

じゃあ、お父さんにも吸わせてみるんか。(笑)

(L)それがどうなるか研究をするために研究費を申請したら通るかもしれませんが。(笑)面白いけどね。(笑)

出ませんけどね。(笑)

(L)そういっった擬似体験をさせて、子どもを愛するプロセスをどう作っっていくかっというのには、僕は大事じゃないかなと思っんですよね。前に子ども心の成り立ち方は積み木のようって言いましたけども、お父さんお母さんが子どもに対する愛情を作っっていくのも積み木のようなものだと思っんですよね。そこをお互い理解して、子育ての役割り分担っというのにはあり得るんじゃないかなと思っんです。特にそれが如実に出るのが、僕は仮の姿でお医者さんとしてますけど、大変な「病気で生まれる赤ちゃん」ですね。その赤ちゃんを「あなたの子ども」すって言っわけなんです。お父さんに「ごめんなさい」の子は、どうなるんだろっ。ごめんなさいっに成長するんだろっ。将来、どういっうふうになんだろっ」といっ不安ばかりが先行っしてまっ

仕事はそんなに偉いんか。人より優れてるんか」って言われて、すごいへこんだことがありますけどね。

どの夫婦にもちよつとした言葉の行き違いとか、それぞれがどんな仕事をしてるかまで理解できない部分があったりするかもしれないから。難しいですね。

(1)子どもが生まれて、二人でその子をどうやって、支えていくかっていうことを真剣に話すのはなかなか難しいですよね。だから、父さんからすると、母さんを手伝いたいんだけど、どうしたらいいかわからないっていうことじゃないかな。

でも女性からするとね、私も何年前に出産しましたけれども、手伝ってくれるのが当たり前だと思うので、何もやってくれないとイラッとしてしまい、クライシスですよ。出産後に夫婦間で起こったことってというのは、多分子どもが成人してもずっと頭の隅に残るんだろうなって思います。

(2)本当にそう、お母さんが出産した前後のことってというのは、もう一生忘れないんですね。だから世の中の男性に言いたいのは、そこだけはーそこだけはーしっかりフォローしましょう。

田下さんはね、お仕事が忙しい。

(3)これはもう大失敗です。僕の失敗談として言いますが、強弱をつけるとしたら、お母さんが出産した時に「強」をつけなさいよと。そしたら、その後はかなりうまくいくんじゃないかっていうのが、僕の反省的な回顧ですね。

鈴木さんもそれは感じられますか？

(4)そうですね、前回の話になりますけど、お母さんが里帰りしてしまって、最初からお父さんとお母さんが離れて子どもを産むところから始まるんですけど、お父さんがあまり関われないですよね。だから、おきればお父さんが産休や育休を一週間でも二週間でもとって、一緒に過ごすことが大事だと思います。それと一緒に子育てをするって、お父さんがお母さん化するってではないと思いますね。私の子どもは上が二十六歳になりますが、一緒に子ども世話はしてくれたいと思えないですね。仕事が忙しくて帰りが夜中でしたから。でも、子どもがトラブルを起こした時に、お父さんが出てきてくれたのは助かりました。そういうところが大事なな。

(二)大変だよ。うちも今二十歳台後半だけど、急にね、インターネットの広告なんか勉強するって言うって何十万もカードで払ってね。まあ、トラブルになって、本人も司法書士に電話したりして、もう大騒ぎですよ。それでいくら借金してるんかって聞いても分からなくて。「これは家の事情をしゃべってしまいますけど、お父さんとして」借金はこれで払いなさい、金輪際しないように」って言うってお金を渡したわけです。

父としての役目を果たしたわけですね。

(三)と思うたら、今度は他の安易な金儲け話に手を出して、もうええ加減にせえやと。毎日、うちの家は爆弾が飛来してるんですよ。もう大変なの。お父さんとしては、彼の将来を考えて、「安易にお金儲けはできません。だから誠実にちゃんと働いてください」って懇々と言うんだけど、うまく伝わらないから怒っちゃうんだよね。でも、それはミスだと思つたの。彼になぜそんなに焦ってるか、なぜぞういって手を出すのか、聞いてやらないといけなかった。でも怒っちゃうんだよね。それは反省しています。

親の年代の昭和のエッセンスが少し残ってるんですよ。何してるんだって言うてしまう気持ちには分かりますね。

(四)「お父さん、もう出て行け」って言っちゃうの、寺内貫太郎の一家みたいな。でもね、そぞうやって子どもとの信頼関係ができていくって言うのかな。俺はお前のことを信用したいし、お前のことを本当に真剣に思ってるんだって、思っているのになかなか言えないんですよ、親父は。

「お父さん、もう出て行け」って言うんですよ。

(五)親父は言えない、恥ずかしい。

断言してますね。(笑)

でも、今回お父さんは父親としてやめるべきことをやられたわけで。話はちやうど戻りますけど、その第一歩としてすごく重要なのが、遺産の仕分けですよ。もしできなかったら、どんな形で「お父さん、奥様や家族に伝えたいこと」って言うかな。

(六)お母さんに寄り添う方法としていろいろあると思うんですよ。何もせずに仕分けを、直接いする必要はないし、後で声かけをしてあげる、もしくは送り迎えしてあげるだけでも違います。

(1)そこはもうお互い考える必要があるんだと思う。

難しいですね。ずっと旦那さんが一番、子どもが二番目になれば、うまくいくんだろうと思いますが。

(2)旦那さんの立場からすると、もっと構ってほしい。でも本当はね、お父さんも何とか貢献したいんだよ。でもどうアプローチしたらいいか分からないんだよ。

(3)だからやっぱり困った時ですよ。例えば子どもが病気になると、怪我をする、いじめにあう、不登校になるとか、すごく困ったときに相談をすることで、お父さんの存在を確かめるよ。うなところがありますね。でも、お父さんもどうしていいかわからなくて頼りにならない、ますます遠ざかってしまいますよね。

(4)具体的なメッセージが残せないかもしれないけれど、女性の人って話を聞いてほしいですし、でも男は仕事場では、筋道を作っていくとしますよね。だから聞くと、そうじゃない、くたがらうって言うっちゃうのね。そこが問題。

(5)すぐ解決したくなって、答えを言いたくなってしまふ。

(6)そうじゃないんだって何回も言われるんだけど、言うっちゃうとどうとをやっちゃうのもう生物学的にわかっていないとだめですね。

そうですね。旦那先生には今日もほんとに熱い話をしていただきました。ありがとうございます。そして鈴木先生何かお知らせはありますか？

(7)はい、毎月行っている「オンライン子育てセミナー兼交流会」っていうのがあるんですが、そのお知らせをさせていただきます。第三土曜夕方四時からズームで行います。偶数月のテーマは「思春期について考える」ということで、セミナーを十分準備している、その後には皆で電話し合います。他には十月から毎週土曜日高松市のごども園でトリプル前向き子育てプログラムを行います。詳しくは「おやサポかわ」のホームページをご覧ください。

鈴木先生、旦那先生、今日はありがとうございます。

ありがとうございます。